



愛知排泄ケア研究会の皆様へ

認定NPO愛知排泄ケア研究会勉強会企画係

11月に入りました。昨日までハロウィーンに沸いたとおもったら、すぐにクリスマス、おせち料理...と、街はすでに年末年始に向けて動いています。今年もあと2ヶ月。あわただしくも感じますが、慌てたり焦ったりは禁物です。何より身体に気を付けて、今年の総仕上げに備えましょう。

では、もろもろのお知らせです。



・第15期排泄機能指導士の募集などに関して

先月ご案内させていただいたように「第13回排泄ケア・排泄機能指導研究会」が来る11月5日(土)13時より開催されます。一般演題と日本福祉大学社会福祉学部の篠田道子先生による特別講演を予定しております。参加無料ですので、ぜひご参加ください。篠田先生には「多職種連携」をどのようにトレーニングして現場で展開すればいいのかについてお話しいただきます。非常にためになる内容ですので、ぜひご参加ください。

さて、この研究会では毎回、次年度の排泄機能指導士の募集のご案内をいたします。今年「排尿自立指導料」が新設され、当研究会の排泄機能指導士も、この指導料算定に関わる「排尿ケアチーム」の一員として厚労省から認めていただくことになりました。そのため、例年以上にお問い合わせも増えており、皆さんにも職場などで講座についての質問があるかもしれません。

1. 次年度の募集要項は、11月5日・排泄ケア・排泄機能指導研究会会場で最初に告知します
2. 募集要項は当日会場に直接来られた「ご自身が講座受講を希望される方」のみにお渡しします。最も早い申し込みはこの段階となります。
3. 次いで、11月後半にお送りする会員向けの会報に募集要項を同封します。これ以後は会員以外のお問い合わせにも募集要項のご説明をオープンとします。

今回排泄機能指導士に応募したいという方がおられたら、ご不明な点は事務局にお問い合わせるようにお伝えいただくのがスムーズだと思います。また排泄機能指導士の応募には当研究会の会員であることが必須要件ですので、まず入会をおすすめください。

・本年12月のワークショップについて

愛知排泄ケア研究会の年末、12月には毎年「ワークショップ」を予定しています。排泄ケアにも非常に関連が深い、医療機関や施設などで直接増えることがあまりないかもしれない話題も含め、今考えたいテーマを選んで、参加の皆さんとともに考えたり語ったりも含む機会を作ります。

今年のゲストは

高柳友子先生

(リハビリテーション医師、社会福祉法人 日本介助犬協会事務局長)

リオ・オリンピック/パラリンピックの開催された今年。改めて「障害」という概念を考えることとともに、支援に活躍する「介助犬」についてぜひ排泄ケアに取り組む方にも知ってほしい、という先生の希望もあり、また、私たちも排泄ケアの視点から障害者リハビリテーションと一言でまとめられがちなものを、より具体的に身近に考えてみたいと思っています。開催は12月18日(日)。詳細は次号で。お楽しみに！

今月も多くの皆さんの御参加おまちしております

